

平皮子山城  
再生検討会  
夫群生

# マメザクラを守るろう

## 保護協議会の立ち上げへ

天城山皮子平マメザクラ群生再生検討会が十八日、伊豆市天城保健福祉センターで開かれた。伊豆市や伊豆森林管理署、環境省、東部農林事務所、環境保護団体などの関係者十六人が出席し、天城山やマメザクラの現状報告、今後の活動計画などについて意見を交わした。九月をめぐりに、天城山皮子平マメザクラ保護協議会(仮称)の立ち上げ準備を進めていくことを決めた。

皮子平で消滅しかけているマメザクラの現地調査を四月末に行い、その結果をもとに今回の検討会の開催となった。同管轄の佐藤修署長や鈴木直道市観光経済部長のほか、天城山の自然を守り育てる会、天城を守る会などの代表者が出席。調査結果として、目視によりマメザクラは生きた木四十九本、枯れた木百十本を確認▽古木・若木関係なく枯れが見られた▽ザクラの根元付近にシカのふんが多く残されていたーなどが報告された。

土壌調査では、硝酸イオンが相対的に高く酸性化の原因である可能性がある。ふん尿のアンモニアが酸化された結果も考えられるーなどの結果となった。

自然再生活動の事例が報告され、森づくり団体各種助成制度について説明があつた。出席者からは「マメザクラの木は皮がむかれておらずシカとの関係ははつきりしない」「ススキも枯れている。植物が育たないほど酸性度が強いのでは」などの意見が上がった。

今後については「情報交換の場が必要」「解決には長い期間がかかる」などとして、同協議会設立を決めた。当面は伊豆市が事務局を務め、規約などの準備を進めていく計画。

三島市議会 20日から一般

5日間で18議